

海運に特化した会計ソフトをPR

■AISがセミナー開催

海運特化型の会計システム開発などを手掛けるエイ・アイ・エス(AIS、本社=東京都)は18日、都内でAISセミナーを開催した。AISが提供する「TRANS-Account」は、海運業務に特化して開発したERP(会計版機関統合型ソフト)。日本では2012年にIFRS(国際財務報告基準)を上場企業に適用するかどうか金融庁が判断し、早ければ15年にも強制適用になるのを受け、IFRSの対応に取り組んでいる。

セミナーで冒頭あいさつした大浦博代表取締役(写真)は「今年、創立29周年を迎えた弊社はSaaSクラウドの分野で総務省後援のNPO、ASPICから基幹業務系グランプリを今年2月末に受賞した。いつもご愛顧いただいているお客様のおかげ」と感謝の意を述べた。その後、白鶴酒造の増田秀樹取締役、韓進海運グループサイバーロジテック社のチョ・ジン取締役、ASPICの

河合輝欣会長、NCAの津田邦和専務理事がそれぞれ祝辞を述べた。

「TRANS-Account」の特徴的な機能は、(1)船別・航海別など任意の切り口で運航損益を出力(2)航海完了・航海日割基準に対応した決算処理を自動化(3)船主や代理店との債権・債務の相殺機能により清算書を自動出力(4)外貨建て取引、在外子会社の会計処理に対応、期末の外貨建て債権・債務の評価替えを自動化(5)海運業で多発する立替金の顛末管理を効率化(6)運航管理システムやNVOCCシステム、決算予測システム(TTRANSシリーズ)とのシームレスな連携(7)マルチ言語化など。

AISは07年9月にサイバーロジテックとパートナー契約を締結した。今年初めには2社共同で、韓進海運グループのシンガポール法人「HANJIN OVERSEAS TANKER(HOT)」に対し、タンカー会社とし

て財務会計プロセス改善と営業力強化を実現できるという2つのシ



ステム導入に成功した。導入したのは、AISの「TRANS-Account」とサイバーロジテックの運航・営業を統合的に管理・支援できる「Opus BULK」というシステム。「Opus BULK」は運航採算データに基づき、瞬時に営業契約の可否を数値的に判断できるのが特徴。「Opus BULK」のデータは「TRANS-Account」へのシームレスな提供が可能だ。

AISの「TRANS-Account」は既に、国内外の海運会社約30社が導入しているという。

双日マリン、新社長に新井氏

■喜多氏は非常勤取締役に

双日マリンアンドエンジニアリングの新社長に6月18日付で新井克治郎常務(写真)が昇格した。喜多敏彦社長は非常勤取締役に就任。

新井氏は日商岩井時代から一貫して船舶部門を歩み、国際汽船への出向やニューヨークとオスロ駐在などを経験。日商岩井船舶と双日マリンアンドエンジニアリングでは新造船のトップを務めた。

また、昨年からは社長を務めた喜多氏は、今年4月に親会社の双日の船舶・宇宙航空機本部長に就任。これに伴い、双日マリンでは社長を退任することになった。

【あらい・かつじろう】1975年3月

東京大学工学部船舶工学科卒業。同年4月日商岩井入社。東京船舶部船舶第三課に配属。1984

年～1991年ニューヨーク駐在。1996年から日商岩井欧州会社オスロ店長。2004年4月双日マリンアンドエンジニアリング経営役員。2009年6月常務取締役新造船グループ長。1953(昭和28)年1月13日生まれ。



双日マリンアンドエンジニアリング、新役員体制

(6月18日)

- ▷取締役会長 川戸 忍
- ▷代表取締役社長 新井克治郎=昇任
- ▷専務取締役<船舶ディビジョン担当>西元久雄
- ▷常務取締役<機能部門担当兼総務・経理部長>堤 邦男
- ▷取締役<非常勤> 喜多敏彦
- ▷監査役 山中秀明
- ▷同<非常勤> 古橋正敏
- ▷同<非常勤> 堀啓二郎
- ▷専務執行役員<機器ディビジョン担当>林 淑郎=昇任
- ▷常務執行役員<機器ディビジョン担当役員補佐・大阪支店長>北村信夫
- ▷同<船舶ディビジョンS&P・備船グループ長> 前神直樹=昇任
- ▷執行役員<船舶ディビジョン船主・船舶管理グループ長>末廣和久
- ▷執行役員<機器ディビジョン東京営業部長>西川元啓=新任